

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	建設部維持管理課	直通電話	72-3138	事業コード	103030103	課内	16	作成日	平成15年8月12日
		担当者	小鷹 雅晴	担当課長	渡辺 英敏	担当部長	鈴木 徳昭		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	冬期迷惑駐車等防止モデル町内会助成金交付事業	開始年度	H10	終了年度	未定								
		最近の事業内容見直し年度											
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>1030303103</td> <td>道路・交通網の整備 / 除排雪対策の充実</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	1030303103	道路・交通網の整備 / 除排雪対策の充実				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
1030303103	道路・交通網の整備 / 除排雪対策の充実												
3) 個別計画での位置付け	平成8年3月策定の石狩市風雪克服計画である「いい冬いしかり21」にうたわれ、市民参加による「冬快適協議会」で迷惑駐車等の排除が策定されている。												

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	冬期間における除排雪の妨げとなる迷惑駐車等の防止。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	冬期間における除排雪作業の妨げとなる迷惑駐車等が無い状態にする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	<p>モデル指定を申請する町内会は、次の事項について実施する。</p> <p>町内会区域での巡回及び迷惑車両を行っている車両への標章の取付 町内会会員に対しての迷惑駐車等の防止に関する啓発 迷惑駐車等防止に関する必要な施策の実施</p> <p>なお、巡回期間は1月初旬から3月中旬までの週1回程度とする。 また、悪質な車両については、札幌北警察署とも連携を図り迷惑駐車等の排除に努める。</p>
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	冬期間における生活道路の確保は最重要課題であるが、除雪及び排雪作業を行うにあたり、作業の支障となる迷惑駐車等を抑制することが不可欠であり、その対策を講じる必要がある。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	町内会を単位とした市民参加による事業である。 事業実施主体も市民である。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	480	634	677	1,065	事業助成金	600
2) その他の間接経費(千円)					標章・ステッカー印刷費	77
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,069	1,078	1,071			
総事業費(1~3の合計;千円)	1,549	1,712	1,748			
総事業費中の一般財源(千円)	1,817	2,076	1,748			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	33	37	31			
事務に従事した正職員のべ人数	0.13人	0.13人	0.13人			
					H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
冬期迷惑駐車等防止モデル町内会数(町内会)	目標値	15	12	13	17	目標値: 予算計上で見込んだ町内会数 実績値: 実際にモデル町内会として指定された町内会数
	実績値	8	11	11		
	達成率	53.3%	91.7%	84.6%		
区域内巡回数(回)	目標値	180	144	156	204	目標値: モデル町内会が期間中、週1回程度の巡回をするとして設定(12回×モデル町内会数) 実績値: 実際に巡回した回数
	実績値	87	131	173		
	達成率	48.3%	91.0%	110.9%		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

5 事業の成果

事業名：冬期迷惑駐車等防止モデル町内会助成金交付事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
違反車両台数(台)	目標値	669	603	477	455	目標値：前年度を下回る数値を目標値として設定 実績値：実際の違反車両の台数	モデル町内会からの報告
	実績値	603	477	455	目標レベル		
	達成率	90.1%	79.1%	95.4%			
	最終目標	年度に					
迷惑駐車等により除雪及び排雪作業の出来なかった回数(回)	目標値	0	0	0	0	目標値：モデル町内会区域内の道路で、除雪及び排雪作業に支障とならない回数 実績値：モデル町内会区域内の道路で、除雪及び排雪作業ができなかった回数	除雪委託業者及び住民からの連絡
	実績値	0	0	3	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	モデル町内会の指定は目標を下回っているものの、区域内巡回数の実績値及び達成率は年々上昇しており概ね良好である。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	モデル指定は、毎年度変わることから単純には比較できないが、違反車両台数が減っていることから有効であると考えられる。 冬期間の市民生活において、安全かつ快適な道路空間の確保には、除排雪作業の妨げとなる迷惑駐車等の排除は必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	除排雪作業をスムーズに進める上で、大きな障害となる迷惑駐車等の排除を市民と共に実施することは一定程度妥当である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	市の広報等によるPRの他、各町内会に本制度の趣旨を説明しモデル町内会の普及促進に努めている。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	市民が冬期間をいかに快適に過ごせるかは、交通網の確保が最重要課題であり、そのための除排雪作業の支障となる迷惑駐車等の排除は必要不可欠である。		課長評価を了承する	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	除排雪作業の支障となる迷惑駐車等を排除し、安全で快適な道路空間の確保のため、モデル町内会の指定増の普及促進に努める。
最終評価	課長評価を了承する

9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向	*	
	現状維持		
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についで の説明	モデル町内会の指定増による拡大		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 建設部維持管理課

事業名： 冬期迷惑駐車等防止モデル町内会助成金交付事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	石狩市冬期迷惑駐車等防止モデル町内会助成金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	市長から冬期迷惑駐車等防止モデル町内会に指定された町内会。 花川南第2町内会ほか10町内会(平成14年度)
活動(事業)目的	冬期間の除雪又は排雪作業の円滑化及び積雪期における十分な道路空間の確保を図るため、迷惑駐車等防止を目的とした活動を行う。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	ボランティア保険の保険料	24	24	47	47	35	35	80	80
	消耗品費	133	133	166	166	137	137	300	300
	会議費	132	132	136	136	177	177	200	200
	車両借上げ(燃料費)	57	57	61	61	51	51	85	85
	その他活動に要する費用	134	134	224	224	277	277	400	400
	歳出合計	480	480	634	634	677	677	1,065	1,065
歳入決算 (予算)状況	石狩市冬期迷惑駐車等防止モデル町内会助成金	460	95.8%	600	94.6%	600	88.6%	960	90.1%
	町内会費	20	市の補助負担金への依存度	34	市の補助負担金への依存度	77	市の補助負担金への依存度	105	市の補助負担金への依存度
	歳入合計	480		634		677		1,065	
補助・負担対象経費の内容	ボランティア保険の保険料、活動の際に必要なカイロその他消耗品、活動に伴う会議費、その他活動に要する費用。								
補助・負担金額の算定方法									

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
モデル地区内の巡回(回数)	87	131	173	204
巡回パトロール参加延人数(人)	399	641	718	800
区域内巡回時における標章取付けの車両(台数)	603	477	455	455
平成14年度活動(事業)実績	モデル地区内の巡回パトロールによる迷惑駐車等への指導 町内会会報等による迷惑駐車等防止を目的とした啓発文書の配布 モデル地区内の臨時駐車場の確保			

4 特記事項

--